平成24年度　事務事業評価シート

※平成23年度に実施した事業を評価しています

事務事業名称	川越市駅周辺地区整備計画													継続
コード	58	－	23	－	02	－	00	予算事業名	三駅周辺地区整備計画					
担当部署	都市計画部		都市計画課		都市計画担当			予算事業コード	会計	10	款	08	項	04	目	01

1. 事業の位置付けと関連計画等

第三次川越市総合計画後期基本計画における位置付け　　位置付けなしの場合

法令による実施義務　一部義務

基本目標(章)	3章	人と環境にやさしい、快適な基盤を備えた魅力あるまち	根拠となる法令、条例等	踏切道改良促進法
方向性(節)	1節	都市の魅力の創出		
施策	2	都市拠点の整備	個別計画等の名称	都市計画マスタープラン
細施策	2	三駅連携強化の推進		

2. 事業の目的と概要

事業の目的 （誰・何を対象に、何のために実施するのか）	川越市駅周辺地区住民並びに駅利用者の利便性、安全性の向上を図り、都心核に位置付けられている当該地区の新たな土地利用の誘導、まちの賑わいの創出、周辺地区の住環境の改善を図る。
事業の概要 （活動内容、実施手段・方法など）	川越市駅周辺地区並びに駅利用者の利便性・安全性を図る整備として、関係企業・住民と協議を行い、駅西側方面からのアクセス改善のための、将来の駅舎改善を見据えた自由通路を開かずの踏切となっている駅北側踏切付近に設置し、併せて駅前周辺の整備計画を策定する。

3. 実施にかかるコストと実績

（単位:千円）

		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
予算額		0	0	1,187	2,495	1,520	
事業費	A	0	0	1,134	2,310	1,520	7,520
人件費	B	0	0	2,590	2,590	1,850	3,700
総コスト（C＝A＋B）		0	0	3,724	4,900	3,370	11,220
正規職員（1年間の従事人数）				0.35人	0.35人	0.25人	0.50人
臨時職員（1年間の従事人数）					0.00人	0.00人	0.00人
国県支出金	D						
その他特定財源	E						
市の財政負担（＝C－D－E）		0	0	3,724	4,900	3,370	11,220

※24年度、25年度の事業費、人件費は見込額
※臨時職員の給与も、人件費に含みます。

4. 成果指標・活動指標による分析

活動	：中心指標	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	指標の定義
活動	関係企業・住民との協議	回			1	3	川越市駅周辺地区整備に向けての関係企業・住民との打合せ回数

中心指標の考え方	事業実施の上で関係企業・住民の同意が不可欠であることから、同意に向けての協議回数を指標とした。
指標に基づく評価	平成22年度，23年度に東武鉄道(株)と協議を行うことで、事業を進める上での東武鉄道(株)の考え方や課題点の抽出を行うことができたので、今後は「川越市」としての整備の方向性を明確に定める必要がある。

5. 事業の実施を通じた分析・評価

(1)　現在の課題と状況　　有効性に課題

関係企業（東武鉄道）の意向は把握できたが、川越市としての考えがまとまっていないため、関係部署と協議を行い整備の方向性を明確にする必要性がある。

(2)　比較参考値（他市での類似事業の例など）

竹ノ塚駅立体横断施設（東京都足立区）
豊四季駅自由通路（千葉県柏市）

(3)　事業を廃止・縮小したときの影響

駅周辺の基盤整備が進まないことで、駅利用者の利便性は向上されず、開かずの踏切となっている駅北側踏切内や、歩行者と自転車が輻輳している駅前周辺では交通事故なども発生することが想定される。

(4)　**所属長自己評価（今後の方向性）**　　**継続**

関係部署と事業化に向けた協議を重ね、事業化方策を明確にし、関係企業、地区住民、関係権利者との合意を図るため、協議・調整を進めていく必要がある。